

ジョイント・コーポ破たん

宜野湾2ホテル 計画白紙

東京証券取引所一部上場で、不動産開発会社ジョイント・コーポレーションは二十九日、東京地裁に会社更生法の適用を申請したと発表した。負債総額は子会社一社を含めて千六百八十億円。

ジョイント・コーポレーションによると、オフィスビルなどを転売する不動産流動化事業が、米サブプライム住宅ローン問題以降の金融不安と不動産市況の低迷を受け悪化した。一方、「アデニウム」ブランドで展開するマンション分譲事業は順調だったという。

ジョイントは、オリック

スグループから約百億円の資本参加を受けて事業の立て直しを目指していたが、資金繰りが悪化。東海林義信社長は「今後三カ月間で五百億円程度の支払い資金が必要だったが、金融機関などから支援を得るのが困難となった」と説明した。

ジョイントは、宜野湾市に建設中のシンハラウスホ

テル沖縄（十二階建て、客室数百七十七）の開業を七月一日に予定していた。隣接する西海岸都市機能用地第一街区には子会社のジョイント・ホスピタリティ（東京、山下孝二社長）

が、日本スターウッドホテル（東京、ロタ・ペール社長）などと共に「シエラトン沖縄宜野湾ホテル（仮称）」の開発を決めていたが、共に白紙となった。

シンハラウスは完成間近で、建設業者からの引き渡しはまだだった。二ホテル

計画を含む同社の財産は、保全管理人の管理の下で譲渡先を探すことになる。

ジョイント・コーポレーションは「シンハラウスを開業できるかどうか未定。（シエラトン建設予定の）

土地をどうするかも未定の状態だ。保全管理人の決定を待つしかない」と話した。

シンハラウスホテル沖縄の運営を受託しているグリーンホスピタリティマネジメント（東京、中館亨社長）は「予約客もおり、取引業者を含めてできるだけ迷惑が掛からないよう対応したい」としている。

「シエラトン沖縄宜野湾ホテル（仮称）」は二百四十五室で三百二十平方メートルの宴会場、レストラン、レクリエーション施設、二百六十六台収容可能な駐車場などを備える予定だった。用された。